

2023年6月29日

報道関係各位



株式会社シーディーアイ
代表取締役社長 濱岡 邦雅

AIケアプラン SOIN（そわん）新バージョンリリース
「生成系AIへの対応」と「適切なケアマネジメント手法への対応強化」

株式会社シーディーアイ（代表取締役社長 濱岡 邦雅、本社：東京都中央区、以下「CDI」）は、AIケアマネジメント支援ツール SOIN（そわん）をバージョンアップし、「生成系AIを活用した支援内容提案AIの拡張」と「適切なケアマネジメント手法への対応強化」を実施したことを発表いたします。

《生成系AIを活用した支援内容提案AI拡張の概要》

SOINは2022年9月に、利用者固有の課題に対する個別的な支援内容を提案する「支援内容提案AI」を搭載しました。

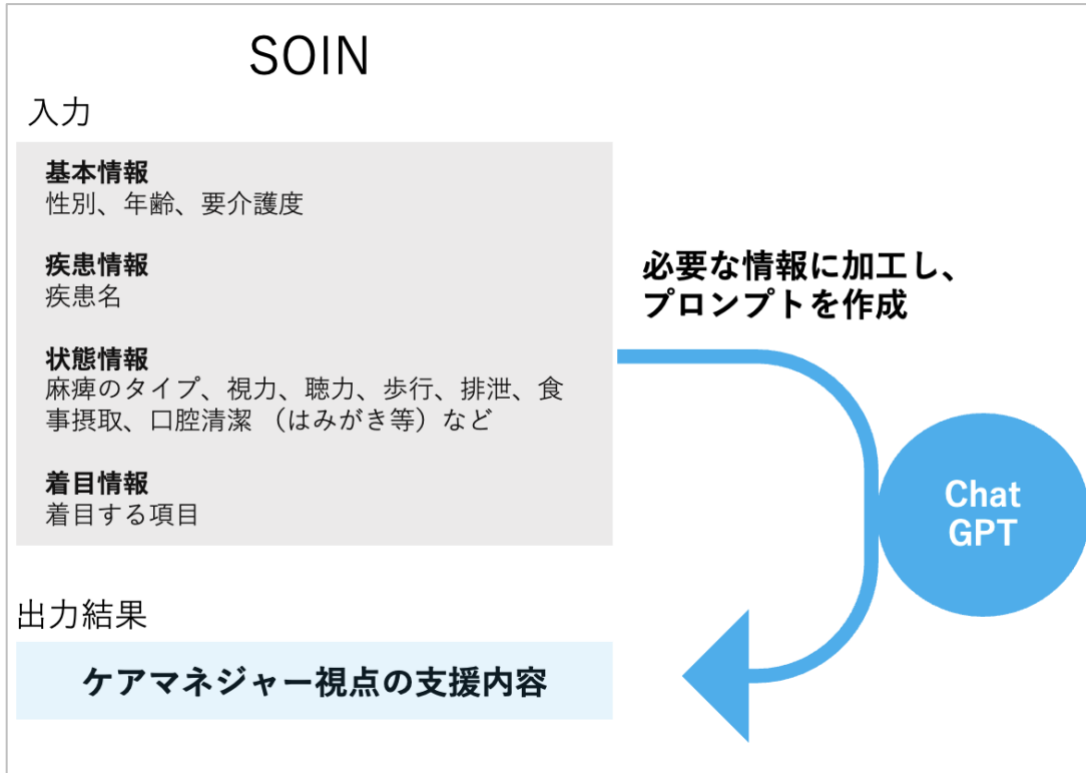
今回のリリースでは新たに、生成系AIの代表的製品である「ChatGPT」と連携することで、多くの情報量と多面的な視点の支援内容提案が可能となりました。

具体的には、ケアマネジャーが既に入力しているご利用者の属性情報、疾患、身体状態などの情報に基づき、SOINサーバーがChatGPT向けのコマンドプロンプトを自動作成*し、ChatGPTはパーソナライズされた支援内容をケアマネジャーに提供します。

*SOINがChatGPTと連携する上では、個人名、住所、被保険者番号などの個人を特定可能な情報を排除した上でコマンドプロンプトを作成しますので、SOINがChatGPTに対して、個人を特定できる情報を提供することはありません。

《生成系AIへの対応イメージ》

【コマンドプロンプトの作成】



【ChatGPTからの回答例：91歳女性、要介護2の方の歩行に対する支援内容の提案】

【参考】「この方への歩行の支援方法は？」に対するChatGPTの回答

利用者の現在の状態を考慮した個別性の高いアドバイスとしては、まずは「歩行」を中心に支援を行うことが重要です。利用者は、物や壁などにつかまれば歩行が可能ですが、立ち上がりには支えが必要とのことです。そのため、利用者の安全を確保するために、歩行中は必ず介護者が付き添い、スリッパや滑り止めのついた靴などを使って転倒のリスクを軽減しましょう。

また、利用者が外出頻度が月1回以上ということから、外出時の歩行支援も大切です。利用者が自宅から出るための階段や玄関などの段差については、手すりの設置やスロープの利用など、介護者が安全に歩行できるような環境整備を行う必要があります。

さらに、利用者が自立して日常生活を送ることができるという点から、運動療法などを取り入れて歩行や立ち上がりのトレーニングを行い、筋力の強化を図ることも有効です。また、介護者が利用者とのコミュニケーションをとりながら、歩行のサポートや専用の歩行器具の利用など、利用者ごとに合わせた支援方法を検討していくことが重要です。

以上のように、利用者の現在の状態を踏まえながら、個別性の高いサポートを提供することが、在宅生活の維持につながります。介護者は利用者とのコミュニケーションを密にし、利用者の意向を尊重しながら、安全かつ安心して生活できるような支援を行っていくことが大切です。

さらに、今回のリリースでは適切なケアマネジメント手法における疾患別ケアに加えて、基本ケア項目を追加し、アセスメント支援機能の機能拡張を実施しました。

《基本ケアのイメージ》

分析画面の「基本ケア疾患別ケア分析」のタブより、基本ケアに関するアセスメントを確認することができます。

【基本ケアの入力画面】

【基本ケアの出力画面】

例) 大項目：家族等への支援

中項目：支援を必要とする家族等への対応

小項目：家族等の生活を支える支援及び連携の体制の整備

上記を選択した場合、以下のアセスメントを表示する

<p>家族等への支援</p>	<p>・適切なケアマネジメント手法の基本ケアに関するアセスメントを表示</p> <p>・気になる項目にマークをつけることができる</p>
<p>支援を必要とする家族等への対応</p>	
<p>家族等の生活を支える支援及び連携の体制の整備</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・疾患に対する本人・家族等の理解度 ・認知症に対する家族等の受け止めの状況 ・認知症に対して家族等が感じている不安 ・仕事や生活との両立に関わる家族等が感じている不安及び悩み ・介護の大きさに対する家族等の認識と理解 ・ADL/IADLの状態（している動作、していない動作、できる動作、できない動作、できると思われる動作、それらの維持・改善の見込みなど） ・本人の麻痺の状況（麻痺の有無、麻痺の内容と程度（麻痺によりできない動作、温度感覚の麻痺など）、麻痺による生活への影響の有無など） ・認知機能の程度、日常生活における障害の有無 ・本人の日次（24時間）の生活リズム・過ごし方 	

これらの機能拡張により、専門職が考案した適切なケアマネジメント手法（基本ケア・疾患別ケア）と Web上の情報を集約した生成系AIの両側面から、アセスメントの視点や支援内容を提案することが可能となり、ケアマネジャーはより質の高いケアマネジメントを実施することが可能となります。

尚これらの新機能は、既存のSOINユーザー様には追加料金無しでご利用いただけるものです。

私たちは、最新のAI技術を積極的に取り入れ、現場で活動する皆様が根拠に基づいた高品質なケアマネジメントを提供できるツールとして、引き続き機能強化を進めてまいります。

以上

《AI（人工知能）ケアマネジメント支援ツールSOIN（そわん）とは》

膨大な過去の介護サービスご利用者様のデータをもとに、状態改善に効果的なサービスのプランの提案と将来の状態予測を行うケアマネジメント支援ツールです。

《会社概要》

会社名：株式会社シーディーアイ

中立性・独立性を備えた立場で介護業界全体を巻き込み、「介護×AI」をキーワードとしたオープンイノベーションを起こし、社会課題解決に挑戦することを目的として、2017年に、株式会社産業革新機構（現INCJ）、セントケア・ホールディング株式会社等により会社設立。2018年に、自立支援型AIケアプランシステムを国内で初めて商用化。

HP：<https://www.cd-inc.co.jp/>

AIケアプラン SOIN(そわん)：<https://soin.tech/>

《お問い合わせ先》

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン14階

経営企画部 広報担当：渡邊

電話：050-5491-7123

E-mail：info@cd-inc.co.jp